



7月号

富士宮市立北山中学校

令和5年7月4日(火)

1年47名 2年47名 3年50名

全校生徒数 144名

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学び 共に高め合う生徒

チャット GPTの是非

校長 金子 哲也

昨年末より、チャット GPT (ジーピーティー) に関するニュースが増え始め、ここ数ヶ月では、ICT 関連では上位の話題となっています。チャット GPT は米国の会社が開発した人工知能 (AI) を使ったチャットサービスです。キーボードや音声認識ツールを用いてコンピューターに質問を入力すると、あたかも相手が目の前にいるかのように、自然な会話 (文字) で次々に回答や助言が得られます。民間企業をはじめ省庁の一部でも導入されはじめ、生産性向上、業務プロセスの改善、ビジネスアイディアの創出、作業の負担軽減にも役立っているようです。一方で、その活用の是非や安全管理についてはガイドラインの作成が急務となり、現状を追いかける形で議論がなされています。

大学では一部の学部で、チャット GPT の試験導入を開始し、学習成果や学生の心理面などにどのような変化・影響が生じるかを検証しているようです。教員の許可があればその指示の範囲内で使える方針を示している大学もあるようですが、レポートや学位論文等においては使用を認めず、使用が確認された場合は厳格な対応を行う大学もあるようです。知人の大学教授にお聞きしたところ、使用した場合はすぐに分かるとのことで、学生とも使用の是非について議論しながら、対応しているとのことでした。

県内の高校でも試験的にチャット GPT を導入した授業を行っている学校があるという話を聞き、6月末に本校職員3名で授業参観と事後研修会、講演会にも参加しました。当日は数学、理科、英語の3教科で提案授業が行われました。その高校では学力差に応じて、進度や学習内容に「個別最適な学び」を意識して授業を行っていましたが、最初に驚いたことは、生徒が必要な言葉を瞬時に入力し、それに対してチャット GPT が次々に提供する文章を素早く読み取っていることでした。さらに、画面を上下に動かしながら読み返し、得られた情報をもとに自分の考えを膨らめ、同時に意見交換をする姿にも驚きました。高校の校長先生やICT担当の先生ともお話をさせていただきましたが、チャット GPT を使用するにあたっては、情報モラル教育に加え、使用目的や場面を限定し学校の限られた時間のみ許可していることを強調していました。その理由の一つとして、個人のスマートフォンや自宅のPCで利用する場合は、情報漏洩の危険性が高いことや、防衛のための知識・技能がさらに必要になっていることを挙げていました。

また、山形県のある小学校では、「AI との付き合い方」を学ぶ授業も実践しているようです。道徳の授業では、一人の少年があだ名で呼ばれることに困っている物語を扱い、それをどう乗り越えるかを話題として議論をします。先生が少年の立場でチャット GPT に実演で相談します。するとチャット GPT が、「まずあなたがやるべきことは、友達にそのあだ名が気に入らないと伝えることです。言い出すことが難しい場合は友達にメールや手紙を書いて自分の気持ちを伝えてもよいでしょう。」と回答します。この少年がチャット GPT を頼ることについて、どう思うかを担任の先生が子供たちにたずねます。すると、意見は二分化されます。「私は頼ります。AI だったらいろいろ教えてくれるし解決策も教えてくれるから。まずはお母さんやお父さんに言ってみてダメだったら AI に相談する。」一方で、「僕は頼りません。自分たちで解決した方が自分の気持ちをしっかり伝えられると思ったからです。」「私は頼りません。だって AI に頼ったら人生ずっと AI に頼るかもしれないから…。」先生は、AI に触れることで子どもたちに自ら考える姿勢を身につけてもらいたいという強い願いを持ち、授業の中で次の言葉を何度も子供たちに問いかけます。「最後に判断するのは誰…?」

今後、チャット GPT の使用については、年令制限、活用場面の精選、使い方を学ぶ機会、著作権の知識習得など、ガイドラインによって方向性が定められていくと思います。何よりも大切なのは、まずは自分の考えや思いを持ち、思考・判断・表現のための情報収集にデジタルを活用することだと思います。皆さんは、どう思いますか・・・。

参考資料：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230411/k10014034961000.html>

令和5年度中体連が開催されました。

「感動ある大会にしよう」をスローガンに掲げ、中体連の市内・東部大会が開催されました。3年生にとっては3年間の集大成となる場として、1・2年生にとっては先輩の勇姿を見る最後の場として、感動ある大会となりました。大会結果や当日の写真を紹介します。

競技・部活名	地区等	結 果
野球部		vs 富士根北中 惜敗
ソフトボール部		リーグ戦 1勝3敗 第4位
男子ソフトテニス部	団体戦	決勝トーナメント進出 1回戦 惜敗
	個人戦	松原涼汰さん 伊藤秀悟さんペア 第3位 県大会進出
女子ソフトテニス部	団体戦	決勝トーナメント進出 1回戦 惜敗
男子バスケットボール部		vs 富士根南中 惜敗
女子バスケットボール部		vs 富士宮四中 惜敗
女子バレーボール部		富士根北中・富士宮一中 との予選リーグ 惜敗
総合部（柔道）	東部地区	渡辺リヨンさん 女子44kg以下級 第7位 県大会進出



野球部



ソフトボール部

個人戦については、全ての参加生徒の結果を載せていません。なお、総合部の水泳、硬式テニス、剣道、バドミントン、相撲につきましては、今後（7月中に）開催されます。



男子ソフトテニス部



女子ソフトテニス部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



女子バレーボール部



総合部（柔道）

【8月の主な行事予定】

5日(土)	市PTA一斉パトロール	28日(月)	給食開始・中央委員会
7日(月)	学校徴収金振替日	29日(火)	専門委員会
14日(月)	学校閉庁日	30日(水)	保・小・中合同引き渡し訓練
～18日(金)まで			
25日(金)	2学期始業式		
26日(土)	数学検定		

